

平成 23 年度予防接種事業実績について

第 7 章 感染症対策・予防接種

1 結核予防事業

結核は、発見の遅れは治療の長期化や集団発生につながる恐れがあるため、予防対策が必要な疾患です。予防対策の一環として各種健康診査時に結核検診を実施しています。平成 17 年度から法改正によりツベルクリン反応検査が中止となりました。また、平成 19 年 4 月 1 日より、結核予防法は廃止されたことにより、結核検診は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に規定されました。

(1) 結核検診

| | |
|------|----------------------------|
| 対 象 | 満 65 歳以上 |
| 会 場 | 保健センター等 |
| 方 法 | 健康チェック、特定健康診査時に実施 |
| 周知方法 | 広報あしや |
| 健診内容 | 問診、胸部レントゲン |
| 結果通知 | 1 か月後文書連絡 |
| 根 拠 | 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 |

< 単位：人 >

| 年度 | 受診者数 | 内 訳 | | | |
|------|-------|-------|------|-----|-----|
| | | 異常なし | (%) | 要精密 | (%) |
| 23年度 | 6,798 | 6,684 | 98.3 | 114 | 1.7 |
| 22年度 | 6,740 | 6,581 | 97.6 | 159 | 2.4 |
| 21年度 | 6,425 | 6,186 | 96.3 | 239 | 3.7 |

実施結果

<単位：人>

| 年度 | | 23年度 | 22年度 |
|--------|-------------------|--------|--------|
| 対象人員 | | 21,901 | 21,588 |
| 受診人員 | | 6,798 | 6,740 |
| 一次検査 | 間接撮影者数 | 3 | 108 |
| | 直接撮影者数 | 6,795 | 6,317 |
| | 喀痰検査者数 | 0 | 0 |
| 要精密者数 | | 114 | 159 |
| 精密撮影者数 | | 69 | 172 |
| 喀痰検査者数 | | 0 | 0 |
| 未把握 | | 0 | 67 |
| 被発見者数 | 結核患者数 | 1 | 0 |
| | 発病のおそれがあると診断されたもの | 1 | 0 |

2 予防接種

予防接種は、これまで天然痘の根絶をはじめ、ポリオの流行の防止等多くの疾病の流行の防止に成果をあげ、感染症による患者の発生や死亡者の大幅な減少をもたらすなど、公衆衛生の向上に大きな役割を果たしてきました。感染症が著しく蔓延し、大きな被害を与えていた時代が過ぎ去り、予防接種によって獲得した免疫が感染症の流行を抑制していることが忘れられてしまいがちですが、国民全体の免疫水準を維持するためには、予防接種の接種機会を安定的に確保するとともに、社会全体として一定の接種率を確保することが重要です。

(1) ポリオ(急性灰白髄炎)

| | |
|------|---|
| 対 象 | 生後3か月から90か月未満 (標準的接種年齢：生後3か月から1歳6か月) |
| 実施時期 | 5月、10・11月 |
| 会 場 | 保健センター |
| 委託協力 | 芦屋市医師会 |
| 接種方法 | 41日以上の間隔をあけて0.05mlずつを2回経口投与(集団接種) |
| 周知方法 | 告示、広報あしや、4か月児健康診査案内時に予防接種についての案内を送付 |

根 拠 予防接種法

<単位：人>

| 実施月 | 対象人員 | 接種人員 | 接種率 |
|--------|-------|-------|--------|
| 23年5月 | 835 | 836 | 99.9% |
| 10・11月 | 818 | 656 | 80.2% |
| 計 | 1,653 | 1,492 | 90.3% |
| 22年5月 | 846 | 1,004 | 118.7% |
| 10・11月 | 839 | 720 | 85.8% |
| 計 | 1,685 | 1,724 | 102.3% |
| 21年6月 | 835 | 938 | 112.3% |
| 11月 | 846 | 617 | 72.9% |

(2) BCG

平成19年4月1日より、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部改正に伴い結核予防法が廃止され、BCG接種が予防接種法に基づき実施されることになりました。

- 対 象 生後3か月から6か月未満
*母子のどちらかに医学的理由があった場合、医師証明書と申請書兼同意書の提出にて集団接種可能(6か月以上1歳未満)
- 会 場 保健センター
- 接種方法 管針による経皮接種法(集団接種)
- 周知方法 広報あしや、4か月児健康診査案内時に予防接種についての案内を送付
- 根 拠 予防接種法

<単位：人>

| 年 度 | 対象人員 | 接種人員 | 接種率 |
|------|------|------|--------|
| 23年度 | 810 | 759 | 93.7% |
| 22年度 | 855 | 870 | 101.8% |
| 21年度 | 890 | 825 | 92.7% |

平成24年度より、委託医療機関での個別接種化

(3) ジフテリア・百日咳・破傷風混合(DPT)

- 対 象 生後3か月から90か月未満
(標準的接種年齢：生後6か月から2歳6か月)
- 実施時期 通年
- 委託協力 芦屋市医師会
- 接種方法 (1期初回) 20日から56日の間隔をあけて0.5mlずつを3回皮下接種
(1期追加) 1期初回接種終了後、6月以上間隔をあけて0.5mlを1回皮下接種
発熱等の予防接種不適當要因により20日から56日までの間隔で、接種が実施でき

なかった者については，その要因が解消された後，予防接種法施行令で定める接種の期間内に，速やかに実施した場合，接種間隔を越えて接種したとしても，接種期間内における接種とみなすこととしており，定期接種として取り扱う。

周知方法 広報あしや，4か月児健康診査案内時に予防接種についての案内を送付
 根 拠 予防接種法

<単位：人>

| 年 度 | 対象人員 | 1期初回 | | | | 1期追加 | 合 計 |
|------|------|------|-----|-----|--------|------|-------|
| | | 1回目 | 2回目 | 3回目 | 接種率 | | |
| 23年度 | 810 | 809 | 827 | 833 | 102.8% | 865 | 3,334 |
| 22年度 | 828 | 910 | 909 | 901 | 108.8% | 902 | 3,622 |
| 21年度 | 844 | 865 | 852 | 858 | 101.7% | 925 | 3,500 |

(4) 麻しん・風しん混合(MR)

平成18年4月から麻しん・風しん(MR)混合ワクチンによる2回接種制度が導入されました。平成20年4月からは，麻疹排除計画(5年間計画)として，麻しん・風しん(MR)混合ワクチンの接種対象者に中学1年生と高校3年生が追加となり，MR第3期・第4期を実施しています。

対 象 (1期) 生後12か月から24か月未満
 (2期) 5歳以上7歳未満で小学校就学前1年間
 (3期) 中学1年生に相当する年齢
 (4期) 高校3年生に相当する年齢

実施時期 通年

委託協力 芦屋市医師会

接種方法 0.5mlを皮下接種(個別接種)

周知方法 広報あしや，4か月児健康診査案内時に予防接種についての案内を送付
 2期対象者には各学校を通じて保護者に通知，3・4期対象者には個別通知

根 拠 予防接種法

<単位：人>

| 年 度 | 時期 | 対象人員 | 接種人員 | 接種率 |
|------|----|------|------|-------|
| 23年度 | 1期 | 859 | 816 | 95.0% |
| | 2期 | 860 | 764 | 88.9% |
| | 3期 | 830 | 723 | 87.1% |
| | 4期 | 784 | 677 | 86.4% |
| 22年度 | 1期 | 862 | 804 | 93.3% |
| | 2期 | 868 | 763 | 88.0% |
| | 3期 | 779 | 719 | 92.3% |
| | 4期 | 762 | 582 | 76.4% |
| 21年度 | 1期 | 853 | 805 | 94.4% |
| | 2期 | 850 | 771 | 90.7% |

| | | | | |
|--|----|-----|-----|-------|
| | 3期 | 773 | 651 | 84.2% |
| | 4期 | 738 | 594 | 80.1% |

(5) 日本脳炎

平成17年7月より日本脳炎については国の指示により、接種の積極的勧奨は差し控えておりましたが、平成21年7月1日から新しい日本脳炎ワクチンの予防接種が始まりました。平成22年8月22日以降の特別措置により、対象年齢(生後6月～90月までの間又は9歳～13歳未満の間)に6日以上の間隔をおいて残りの回数の接種ができることとなりました。

- 対 象 (期) 生後6か月から90か月未満
(期) 9歳以上13歳未満 (標準的接種年齢：小学4年生)
実施時期 通年(新しい「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン」は1期を対象に開始される。)
委託協力 芦屋市医師会
接種方法 (1期初回) 6日から28日の間隔をあけて0.25ml(3歳未満)・
0.5ml(3歳以上)ずつを2回皮下接種(個別接種)
(1期追加) 1期初回接種終了後、概ね1年おいて0.25ml(3歳未満)・
0.5ml(3歳以上)を1回皮下接種(個別接種)
周知方法 広報あしや、各学校園等を通じて保護者に通知
根 拠 予防接種法

<単位：人>

| 年 度 | 期初回 1 回目 | 期初回 2 回目 | 期追加 | 期 | 合 計 |
|------|-------------|-------------|-------|-----|-------|
| 23年度 | 1,517 | 1,555 | 1,656 | 514 | 5,242 |
| 22年度 | 1,986 | 1,961 | 738 | 549 | 5,234 |
| 21年度 | 896 | 771 | 52 | 57 | 1,776 |

(6) ジフテリア・破傷風混合(DT)

- 対 象 満11歳以上13歳未満(標準的接種年齢：小学6年生)
実施時期 通年
委託協力 芦屋市医師会
接種方法 0.1mlを皮下接種(個別接種)
周知方法 広報あしや、各学校を通じて保護者に通知
根 拠 予防接種法

<単位：人>

| 年 度 | 対象人員 | 接種人員 | 接 種 率 |
|------|------|------|-------|
| 23年度 | 847 | 546 | 64.5% |
| 22年度 | 887 | 604 | 68.1% |
| 21年度 | 829 | 490 | 59.1% |

(7) 就学前の予防接種確認

就学時健診日に教育委員会と連携して、就学前に実施すべき予防接種が実施されているかを確認し、未接種の予防接種について接種を勧奨しています。

実施場所 市内8小学校

事業開始 平成16年度

<単位：人>

| 実施日 | 小学校名 | 対象人数 | 受診者数 | 予防接種完了者 | MR2期未接種者 | DPT未完了者 | ポリオ未完了者 | 日本脳炎未完了者 | 未接種(主義) |
|--------|------|------|-------|---------|----------|---------|---------|----------|------------|
| 10月26日 | 浜風 | 57 | 53 | 17 | 17 | 4 | 2 | 20 | 1(1) |
| 10月27日 | 岩園 | 149 | 134 | 23 | 70 | 4 | 1 | 77 | 0 |
| 11月1日 | 朝日ヶ丘 | 64 | 56 | 7 | 34 | 7 | 1 | 44 | 1(1) |
| 11月1日 | 山手 | 153 | 107 | 18 | 48 | 7 | 5 | 77 | 1(1) |
| 11月7日 | 精道 | 126 | 132 | 46 | 48 | 9 | 2 | 75 | 2(0) |
| 11月9日 | 潮見 | 106 | 103 | 24 | 44 | 4 | 5 | 70 | 2(0) |
| 11月10日 | 打出浜 | 92 | 89 | 31 | 34 | 3 | 1 | 45 | 0 |
| 11月10日 | 宮川 | 114 | 105 | 25 | 50 | 3 | 3 | 66 | 0 |
| 合計 | | 861 | 779 | 191 | 345 | 41 | 20 | 474 | 7(3) |
| 受診率 | | | 90.5% | 24.5% | 44.3% | 5.3% | 2.6% | 61% | 0.9%(0.4%) |

平成22年度より予防接種完了者に日本脳炎完了者を含むこととする。

(8) 高齢者インフルエンザ

対象 65歳以上(60歳以上～65歳未満で身体障害者手帳内部障害1級所持者)

期間 平成23年10月1日～平成24年1月31日

委託協力 芦屋市医師会

接種方法 0.5mlを皮下接種(個別接種)

費用 1回 1,000円

事業開始 平成13年度

<単位：人>

| 年度 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 接種者合計 | 対象者 | 接種率 |
|------|-------|-------|-------|-----|----|----|-------|--------|-------|
| 23年度 | 1,658 | 5,306 | 2,016 | 903 | | | 9,883 | 22,306 | 44.3% |

| | | | | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-----|---|--------|--------|-------|
| 22年度 | 2,766 | 5,745 | 1,488 | 438 | 251 | 2 | 10,690 | 21,691 | 49.3% |
| 21年度 | 3,969 | 3,173 | 985 | 1,077 | | | 9,204 | 21,353 | 43.1% |

(9) 子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業

平成23年1月より、予防接種の促進を図り、もって乳幼児等の健康の保持に寄与することを目的に、子宮頸がん予防ワクチン、Hib(インフルエンザ菌b型)ワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンの接種に要する費用の助成を開始しました。

この事業は、平成24年3月31日までに接種された回数を助成します。

対象者 接種時に市内に住所を有する下記に規定する者

| 種 別 | 接 種 対 象 者 | 接種回数 |
|-----------------|---------------------------|------|
| 子宮頸がん予防 ワクチン | 中学校1年生から高校1年生相当の年齢の者 | 3回 |
| ヒブワクチン | 生後2月以上7月未満の間に初回の予防接種を受ける者 | 4回 |
| | 生後7月以上1歳未満の間に初回の予防接種を受ける者 | 3回 |
| | 1歳以上5歳未満の間に初回の予防接種を受ける者 | 1回 |
| 小児用肺炎球菌 ワクチン | 生後2月以上7月未満の間に初回の予防接種を受ける者 | 4回 |
| | 生後7月以上1歳未満の間に初回の予防接種を受ける者 | 3回 |
| | 1歳以上2歳未満の間に初回の予防接種を受ける者 | 2回 |
| | 2歳以上5歳未満の間に初回の予防接種を受ける者 | 1回 |

実施時期 平成23年4月1日～平成24年3月31日

助成方法 市内の契約医療機関で予防接種を受ける場合は、接種費用を無料とする
市外の医療機関で予防接種を受けて接種費用を支払った場合は償還払いにより助成する。

助成額 子宮頸がん予防ワクチンについては、接種1回当たり上限15,000円
ヒブワクチンについては、接種1回当たり上限8,000円
小児用肺炎球菌ワクチンについては、接種1回当たり上限10,000円

周知方法 対象者に対して個別通知、契約医療機関にポスター掲示、広報あしや、ホームページ

【助成者数】

子宮頸がん予防ワクチン

<単位：人>

| 対 象 者 | 接種者実人数 | 接種者延べ人数 |
|---------------|--------|---------|
| 中学校1年生(13歳相当) | 344 | 927 |
| 中学校2年生(14歳相当) | 286 | 892 |
| 中学校3年生(15歳相当) | 212 | 675 |
| 高校1年生(16歳相当) | 260 | 754 |
| 高校2年生(17歳相当) | 148 | 671 |
| 合 計 | 1,250 | 3,919 |

高校2年生については、ワクチン不足により、平成23年9月末までに1回目接種を行ったものが対象となった。

ヒブワクチン

<単位：人>

| 対 象 者 | 接種者実人数 | 接種者延べ人数 |
|------------|--------|---------|
| 生後2月以上7月未満 | 739 | 1,757 |
| 生後7月以上1歳未満 | 99 | 648 |
| 1歳 | 91 | 449 |
| 2歳 | 165 | 165 |
| 3歳 | 71 | 71 |
| 4歳 | 119 | 119 |
| 合 計 | 1,284 | 3,209 |

小児用肺炎球菌ワクチン

<単位：人>

| 対 象 者 | 接種者実人数 | 接種者延べ人数 |
|------------|--------|---------|
| 生後2月以上7月未満 | 724 | 1,634 |
| 生後7月以上1歳未満 | 121 | 758 |
| 1歳 | 132 | 919 |
| 2歳 | 251 | 251 |
| 3歳 | 137 | 137 |
| 4歳 | 177 | 177 |
| 合 計 | 1,542 | 3,878 |